

PAT-NO: JP02000123155A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000123155 A

TITLE: PHOTOGRAPHING SYSTEM FOR PORTRAIT OF DECEASED
PERSON

PUBN-DATE: April 28, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

| NAME | COUNTRY |
|-----------------|---------|
| TATENO, TETSUYA | N/A |

ASSIGNEE-INFORMATION:

| NAME | COUNTRY |
|---------------------|---------|
| FUJITSU GENERAL LTD | N/A |

APPL-NO: JP10298009

APPL-DATE: October 20, 1998

INT-CL (IPC): G06T001/00, A47G033/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make a portrait photograph of the deceased person by performing a video processing to a photograph of the deceased person and displaying it on a video display part mounted on an altar, etc.

SOLUTION: The portrait photograph of the deceased person is made by photographing the photograph 2 by a camera 1 for paintings and calligraphy, displaying it on the video display part (a screen of a PDP or a projector device) 3 mounted on the altar, etc. Otherwise, video of the photograph is fetched by an image scanner and is displayed on the video display part. A

personal computer is interposed at the rear stage of the camera for paintings and calligraphy or the image scanner so that correction of the background for making the portrait photograph of the deceased person. Otherwise, plural pieces of the video of the photograph are stored in an image storage part of the personal computer, the proper pieces of video of the photograph are taken in accordance with progress of a funeral or memorial service and are displayed by replacing them.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-123155
(P2000-123155A)

(43) 公開日 平成12年4月28日 (2000.4.28)

| (51) IntCl. ⁷ | 識別記号 | F I | テーマコード* (参考) |
|--------------------------|------|---------------|-----------------|
| G 0 6 T 1/00 | | G 0 6 F 15/62 | 3 8 0 5 B 0 5 7 |
| A 4 7 G 33/00 | | A 4 7 G 33/00 | Z |

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-298009

(22) 出願日 平成10年10月20日 (1998.10.20)

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 館野 哲哉

川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士
通ゼネラル内

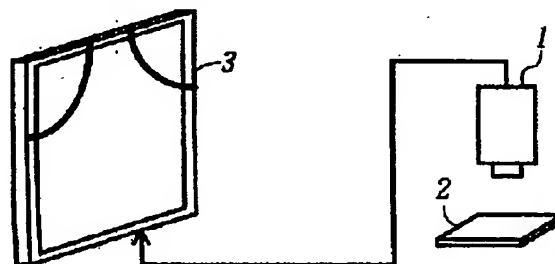
Fターム(参考) 5B057 BA02 CA08 CA12 CA16 CB08
CB12 CB16 CC01 CD01 CE08

(54) 【発明の名称】 遺影写真システム

(57) 【要約】

【課題】 故人の写真を映像処理し、祭壇等に載置した映像表示部に表示して遺影写真とする。

【解決手段】 書画カメラ1で写真2を撮像し、祭壇等に載置した映像表示部 (PDPまたはプロジェクタ装置のスクリーン) 3に表示し、遺影写真とする。または、イメージスキャナで写真映像を取込み、映像表示部に表示する。書画カメラまたはイメージスキャナの後段にパソコンを介挿し、遺影写真にするための背景の修正等を行うようにする。また、パソコンの画像記憶部に写真映像を複数記憶させ、葬儀あるいは法事の進行に合わせて適宜の写真映像を取出し、差し替えて表示するようにしてもよい。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 写真等を撮像する書画カメラと、祭壇等に載置され遺影写真用の装飾フレームを周囲に設けた映像表示部とからなり、前記書画カメラで遺影写真を撮像し、書画カメラよりの信号に基づく映像を前記映像表示部に表示し、祭壇の遺影写真とするようにした遺影写真システム。

【請求項2】 写真等を読取るイメージスキャナと、祭壇等に載置され遺影写真用の装飾フレームを周囲に設けた映像表示部とからなり、前記イメージスキャナで遺影写真を読取り、イメージスキャナよりの信号に基づく映像を前記映像表示部に表示し、祭壇の遺影写真とするようにした遺影写真システム。

【請求項3】 前記書画カメラまたはイメージスキャナの後段に画像処理装置を設け、写真の不具合箇所の修正等を行うようにした請求項1または2記載の遺影写真システム。

【請求項4】 前記画像処理装置に写真映像を記憶する画像記憶部を付設し、画像記憶部より読出した写真映像を差し替えて出力できるようにした請求項3記載の遺影写真システム。

【請求項5】 前記映像表示部をプラズマディスプレイパネルにより構成した請求項1、2、3または4記載の遺影写真システム。

【請求項6】 前記映像表示部を投写型液晶プロジェクタ装置のスクリーンで構成し、前記書画カメラまたはイメージスキャナよりの信号に基づき投写型液晶プロジェクタ装置の本体によりスクリーンに投写するようにした請求項1、2、3または4記載の遺影写真システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は遺影写真システムに係り、祭壇等にプラズマディスプレイパネル（PDP）等で構成した映像表示部を載置し、故人の写真映像を表示し、遺影写真とするものに関する。

【0002】

【従来の技術】葬式あるいは法要のとき祭壇等に故人の遺影写真をかざる。この遺影写真は故人の写真を引きのばして複写したもの等が用いられるが、遺影写真にそのまま使えるものがない場合が多く、例えば、スナップ写真あるいは集合写真から顔の部分を抜き取り、無地の背景に合成する等の処理が必要で、このような処理技術を持った写真店等に依頼しなければならないものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明はこのような点に鑑み、故人の写真の映像を書画カメラまたはイメージスキャナで取込み、必要に応じて修正等の映像処理を行い、祭壇等に載置した映像表示部に表示し、遺影写真とすることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の遺影写真システムでは、写真等を撮像する書画カメラと、祭壇等に載置され遺影写真用の装飾フレームを周囲に設けた映像表示部とからなり、前記書画カメラで遺影写真を撮像し、書画カメラよりの信号に基づく映像を前記映像表示部に表示し、祭壇の遺影写真とする。

【0005】または、写真等を読取るイメージスキャナを設け、イメージスキャナで遺影写真を読取り、イメージスキャナよりの信号に基づく映像を前記映像表示部に表示するようにする。

【0006】なお、前記書画カメラまたはイメージスキャナの後段に画像処理装置を設け、写真の不具合箇所の修正等を行うようにしてもよい。

【0007】また、画像処理装置に写真映像を記憶する画像記憶部を付設し、画像記憶部より読出した写真映像を差し替えて出力できるようにしてもよい。

【0008】なお、前記映像表示部をPDPで構成するか、または、投写型液晶プロジェクタ装置のスクリーンで構成し、前記書画カメラまたはイメージスキャナよりの信号に基づき投写型液晶プロジェクタ装置の本体によりスクリーンに投写するようにする。

【0009】

【発明の実施の形態】発明の実施の形態を実施例に基づき図面を参照して説明する。図1および図2はそれぞれ本発明による遺影写真システムの実施例の要部構成図である。図1の1は書画カメラ、2は故人の写真、3は映像表示部、図2の11はイメージスキャナ、12は画像処理を行うパソコン（パーソナルコンピュータ）装置（画像処理装置で、画像記憶部を内蔵）である。

【0010】次に、本発明による遺影写真システムの動作を説明する。図1の場合、書画カメラ1で写真2を撮像し、書画カメラ1よりの映像信号に基づき映像表示部3に遺影写真を表示する。映像表示部3は、例えば、PDPを用い、周囲に遺影写真用の装飾フレームを設け、葬式あるいは法事の祭壇等に載置する。または、映像表示部3を投写型液晶プロジェクタ装置のスクリーンで形成し、書画カメラ1よりの信号に基づき投写装置本体でスクリーンに遺影写真の映像を投写するようにする。

【0011】図2の場合、イメージスキャナ11に写真を装着してスキャンし、写真映像を読取り、必要に応じてパソコン12（画像処理装置）で修正等を行い、映像表示部3に表示する。この修正は、写真がスナップ写真あるいは集合写真等で遺影写真には不具合がある場合等に不具合な部分を修正する。例えば、人物の背景部分に無地模様を嵌め込む等の修正を行う。また、何枚かの写真映像を必要に応じて同様に処理し、パソコン12に内蔵の画像記憶部に記憶させ、葬儀あるいは法事の進行に合わせて適宜の写真映像を読出し、前の写真映像と差し替えて

出力し、映像表示部3に表示するようにしてもよい。
 【0012】なお、上記図1では書画カメラ1による写真映像を直接映像表示部3に入力するもので説明したが、書画カメラ1で何枚かの写真を撮影し、書画カメラ1の後段にパソコン12を設け、必要に応じてパソコン12で修正を行い、内蔵の画像記憶部に何枚かを記憶し、必要に応じて適宜の写真映像を読み出し、差し替えて出力するようにしてもよい。このように、一旦これらの設備を整えることにより、写真さえあれば短時間で遺影写真に仕上げることができ、その都度写真の引き伸ばしプリント等を行う手間と時間が省け、写真が中々決まらない場合等でもあわてずにすませることができる。

【0013】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明による遺影写真システムによれば、書画カメラあるいはイメージスキャナ、およびパソコンを用いての映像処理でスナッ

プ写真等を遺影写真に仕上げるものであるから、写真を引き伸ばしプリントする手間と時間を省け、また、写真の修正が容易にでき、葬儀あるいは法事の進行に合わせて写真を差し替えることも可能な有用なものである。

【図面の簡単な説明】

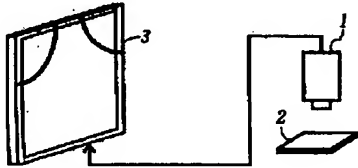
【図1】本発明による遺影写真システムの一実施例の要部構成図である。

【図2】本発明による遺影写真システムの他の実施例の要部構成図である。

【符号の説明】

- 1 書画カメラ
- 2 写真
- 3 映像表示部
- 11 イメージスキャナ
- 12 パソコン（画像処理装置で、画像記憶部内蔵）

【図1】



【図2】

